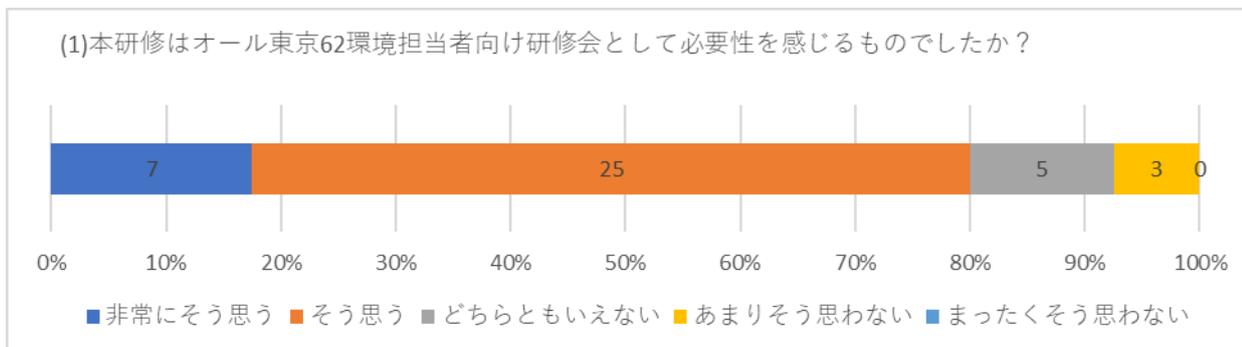


オール東京 62 環境担当者研修会

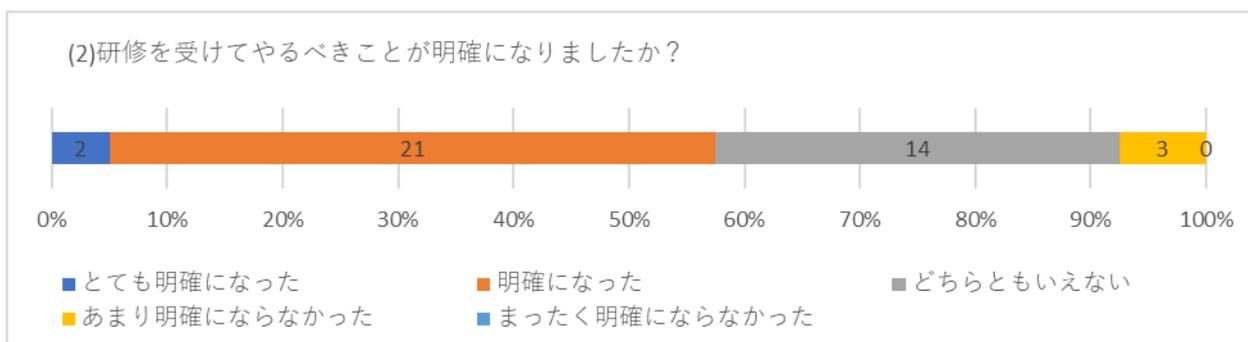
第 1 回環境担当者研修会 アンケート結果の共有

【設問 1】本研修全体についておうかがいします。

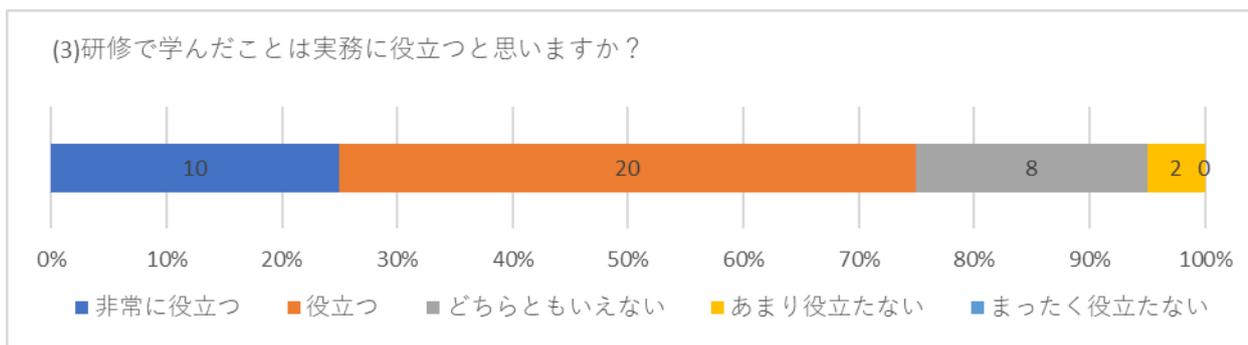
(1) 本研修はオール東京 62 環境担当者向け研修会として必要性を感じるものでしたか？



(2) 研修を受けてやるべきことが明確になりましたか？



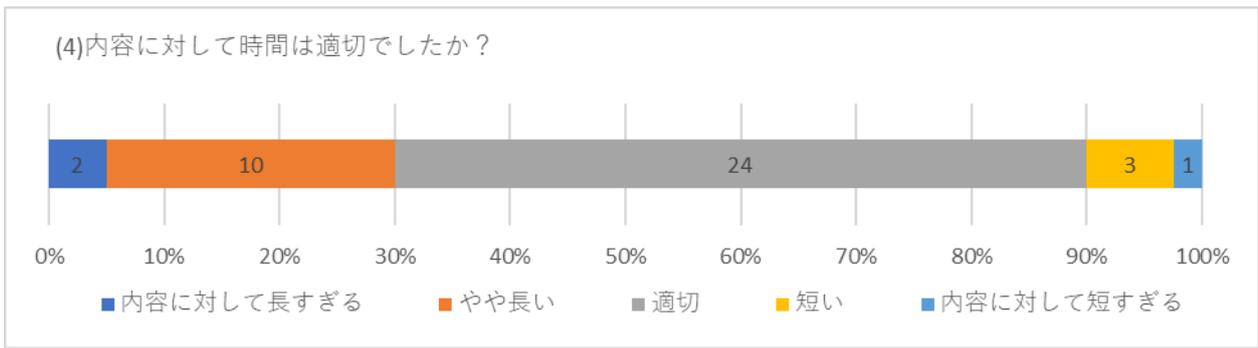
(3) 研修で学んだことは実務に役立つと思いますか？



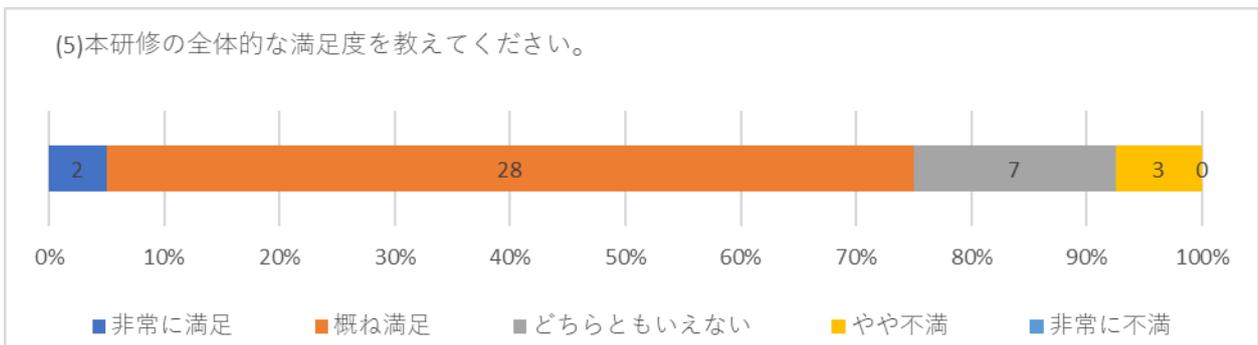
あまり役立たない・まったく役立たないと回答した方：それはなぜですか？

・ 業務に直結する内容ではなかったため
・ 公害に関する説明が多かったが、公害は別の係が担当しているため。
・ 講義の内容が「公害対策」に比重を置いたものと感じました。国分寺市では「公害対策」と「温暖化・気候変動対策」では所管している部が異なるため、現在担当している業務に直結する内容ではなかったと認識しているためです。

(4) 内容に対して時間は適切でしたか？



(5) 本研修の全体的な満足度を教えてください。



やや不満・非常に不満と回答した方：どのような研修会を望まれていましたか

・ 文字が多く、もう少しイメージ図等が多いとわかりやすいと感じた
・ 温暖化について記載があったため、その内容を期待していました。
・ 地球温暖化に対する取り組みについて、地方公共団体の先駆的取組を知りたかった。

(6) 研修の中で一番印象に残っている内容は何か？

・ 環境法の成立背景や意義
・ 貧困と地球温暖化が関係しているというお話です。発展途上国はどうしても CO ₂ の排出量を減らすことができず、貧困が引き起こす地球温暖化ということで興味深いお話でした
・ 国の予算の読み方
・ チャットでの意見交換
・ 先生のお話の中で、地球温暖化対策として一番有効なのは、「食べ残しをなるべくしない」など家庭で簡単にできることだというのが印象的でした。自治体として何か特別な対策を考えるのも大事だと思いますが、地球温暖化についての普及啓発を行い、一人でも多くの区民に省エネ行動を取ってもらうよう働きかける事がすごく重要だと感じました。
・ 脱炭素社会実現のための具体策
・ 時代ごとの課題を反映して進化する国の環境政策及び法制度の内容が、同時代を生きてきた者として興味深かった。
・ 環境基本法の歴史
・ 国の予算制度の読み方
・ 環境法設立経緯は、環境部門の経験の浅い職員にとって有益
・ 環境法等の変遷について
・ 特になし
・ 過去から現在に至るまでの環境法について
・ 今国会での法改正内容

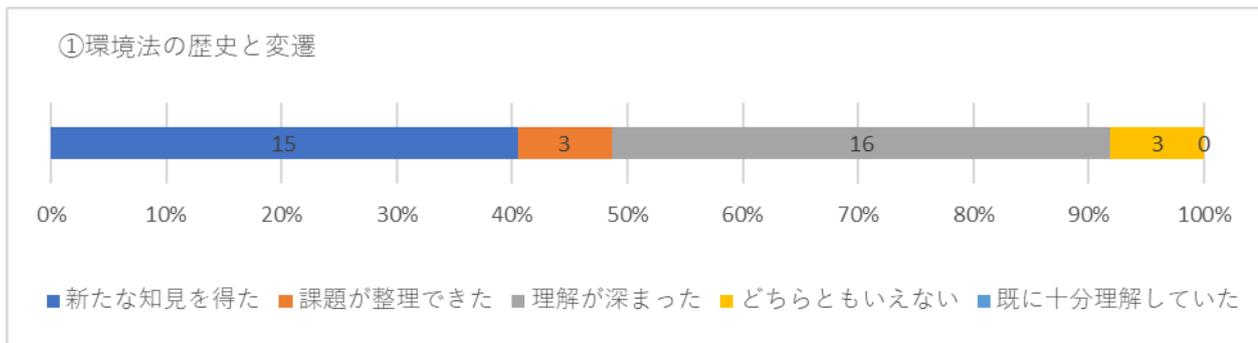
・ 発展途上国の CO ₂ 削減についての課題
・ 午後後半の地方公共団体による環境政策の展開、国のスケジュール
・ 脱炭素関係。
・ 気候変動対策について。区でも計画等を策定していますが、どの法律に基づいて（又は対応して）いるかなど、業務を行う上で情報の整理ができました。
・ 地方公共団体による環境政策の展開
・ 環境対策における地方公共団体の役割、脱炭素先行地域のイメージについて。
・ 環境法の原則（未然防止、予防原則、汚染者負担）、日本で既に起こりつつある気候変動の影響
・ 特になし。
・ 環境法令の主たる対象が、公害から時代とともに地球温暖化に変化していった点。
・ 日本において公害への対応から環境意識の高まりが始まった点です。これは高度経済成長期を背景にしており、まさに過去の話であると感じました。当時は環境＝公害対策の認識であり、大量消費社会を生き抜いてきた人々に、いかに現在の環境意識を育ませることのむずしさを改めて感じました。
・ 計画の法的位置づけ
・ 公害の歴史です。時代背景とともに環境法の変遷を追うことで深く理解することができました。
・ 国予算の確認について
・ 地方公共団体による環境政策の展開について

【設問2】各セッションについておうかがいします。

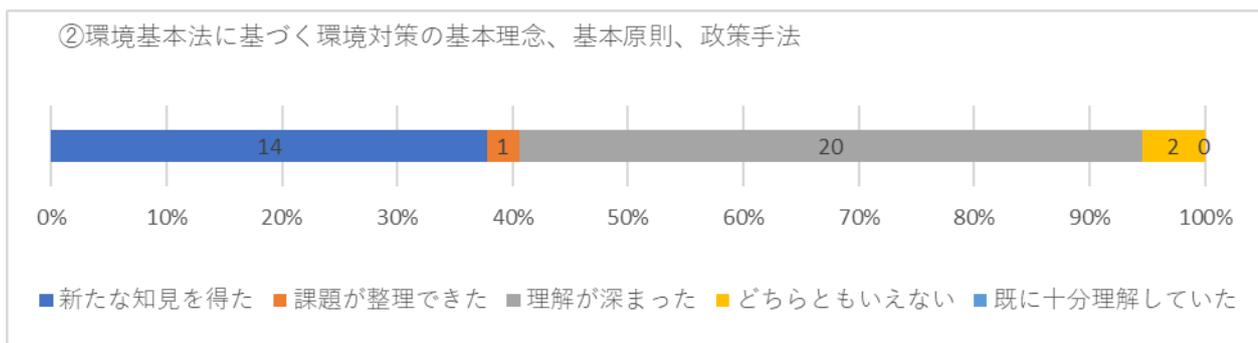
第一部 講義1「環境法の歴史と概要」

出席	37名
欠席	3名

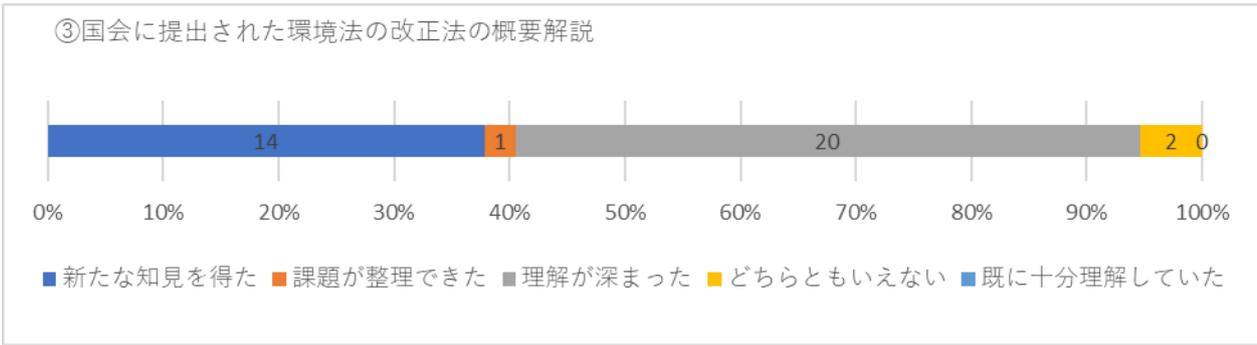
(1) ①環境法の歴史と変遷



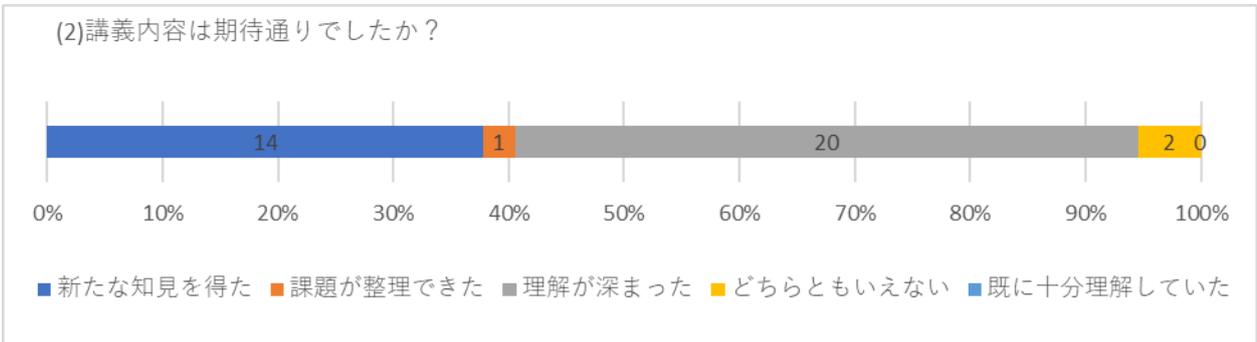
(1) ②環境基本法に基づく環境対策の基本理念、基本原則、政策手法



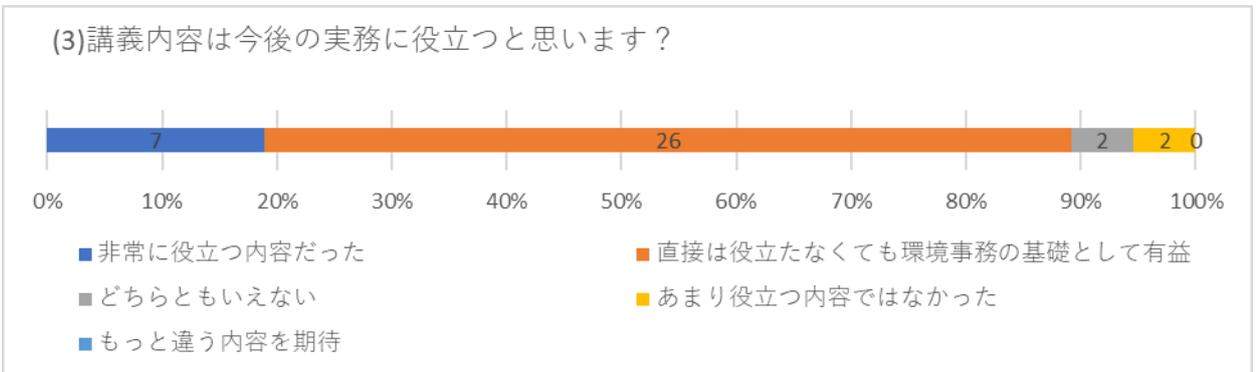
(1) ③国会に提出された環境法の改正法の概要解説



(2) 講義内容は期待通りでしたか？



(3) 講義内容は今後の実務に役立つと思いますか？



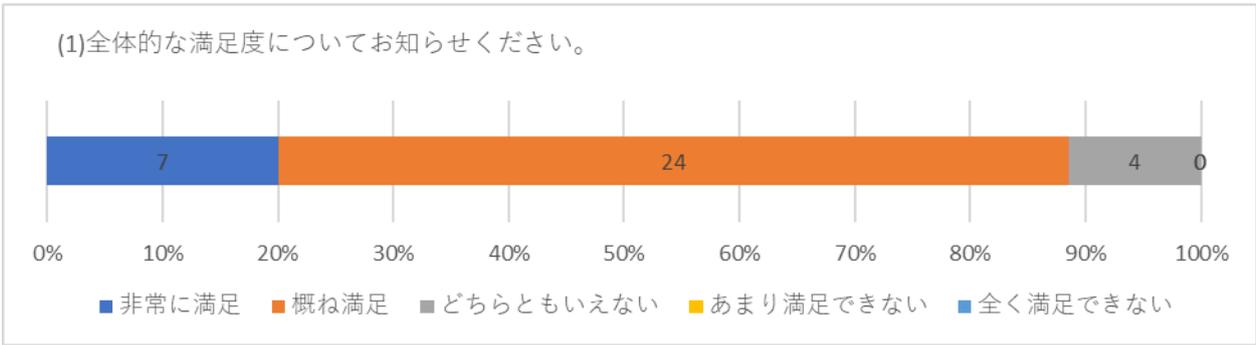
「あまり満足できない」「全く満足できない」を選んだ方は、どのような内容を期待されたか、お書きください：

公害などの話が主なように見受けられたため、担当業務とは異なった点が残念でした。ただ、対象者は新しく環境業務の担当者となった者だったため、自分の期待してたものではなくとも、対象者に対する研修内容としては適切だったと思います。
どのような過程で法、条例が制定されたか知りたかったです。

第二部 講義2「環境対策における地方公共団体の役割」について

出席	35名
欠席	5名

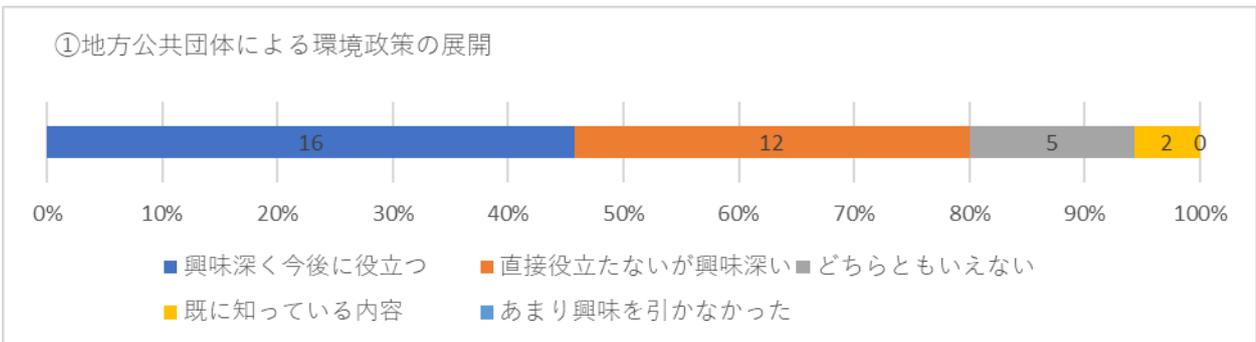
(1) 全体的な満足度についてお知らせください。



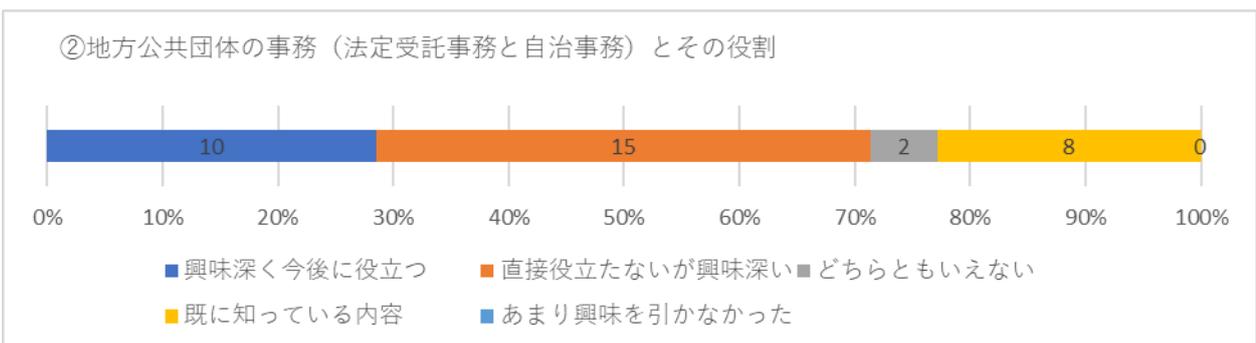
「あまり満足できない」「全く満足できない」を選んだ方は、どのような内容を期待されたか、お書きください：

回答なし

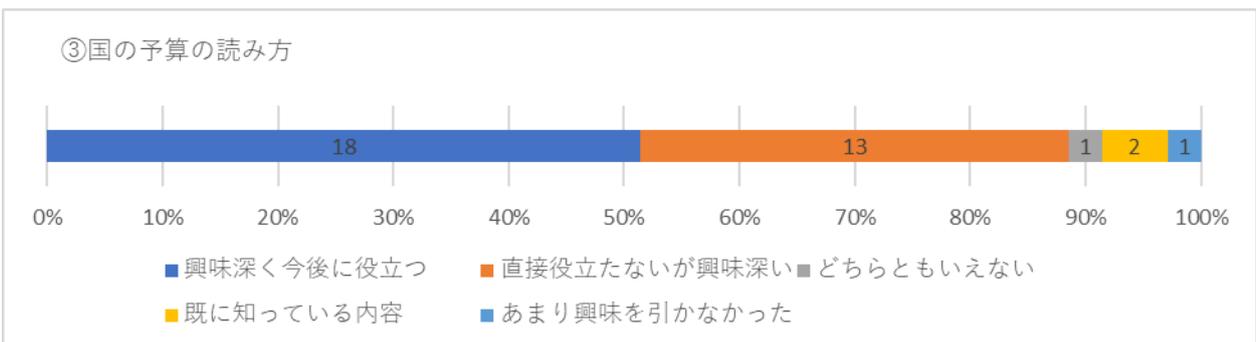
(2) ①地方公共団体による環境政策の展開



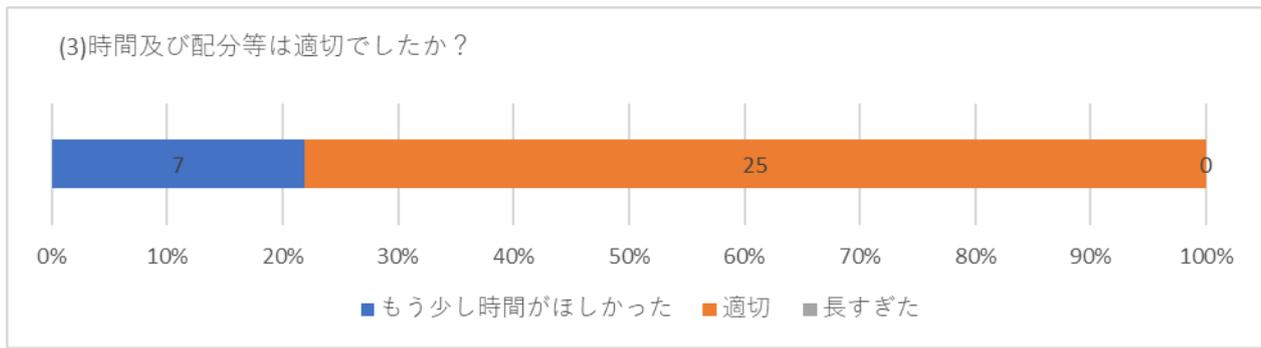
(2) ②地方公共団体の事務（法定受託事務と自治事務）とその役割



(2) ③国の予算の読み方



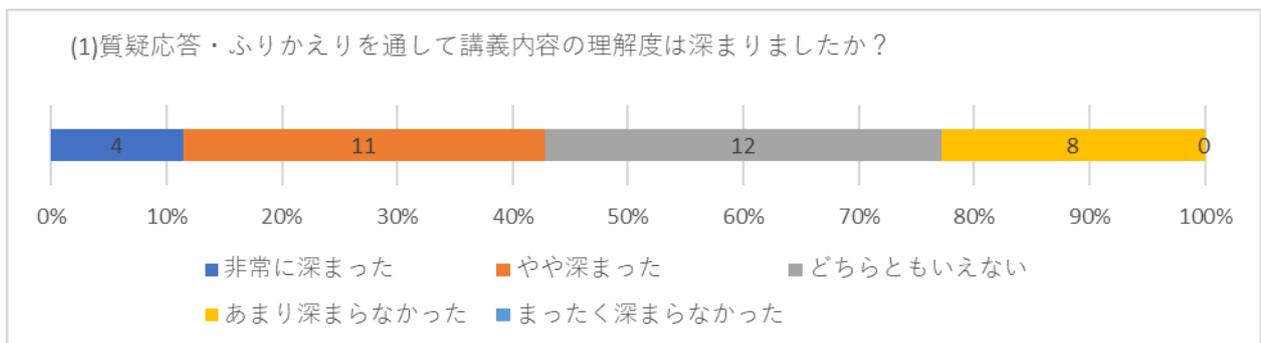
(3) 時間及び配分等は適切でしたか？



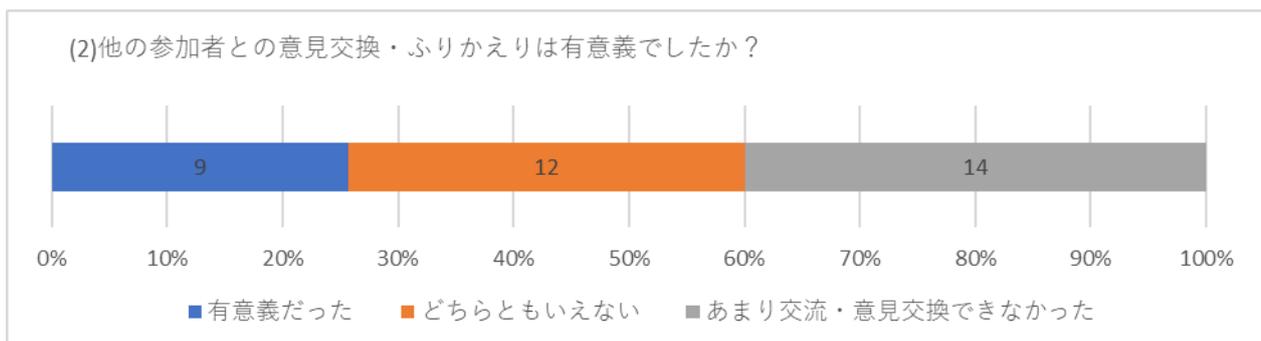
質疑応答・ふりかえりについて

出席	35名
欠席	5名

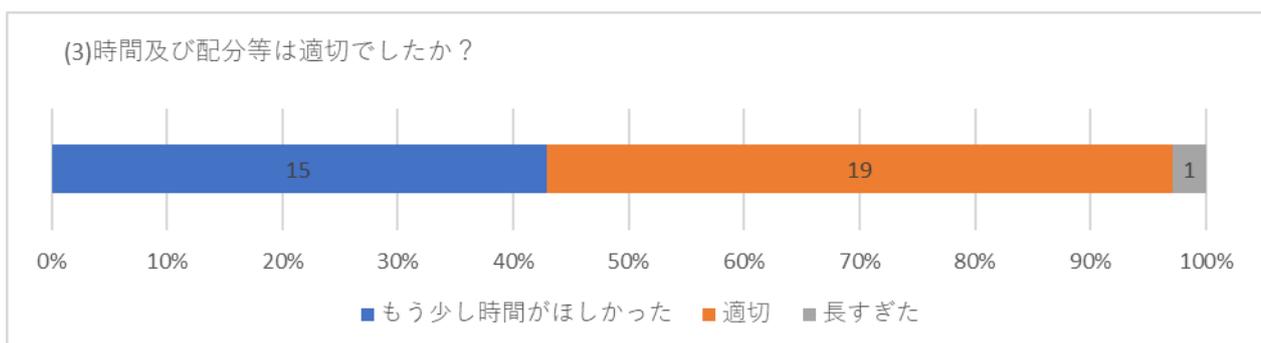
(1) 質疑応答・ふりかえりを通して講義内容の理解度は深まりましたか？



(2) 他の参加者との意見交換・ふりかえりは有意義でしたか？

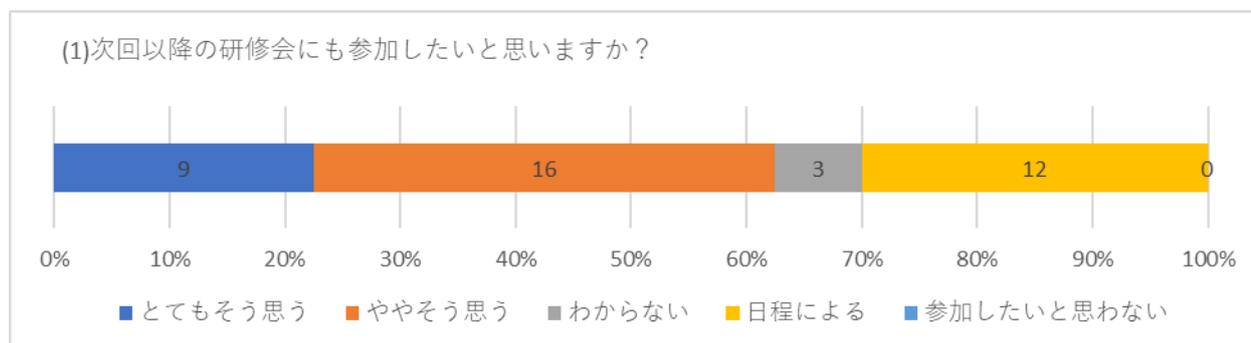


(3) 時間及び配分等は適切でしたか？



【設問 3】 今後の研修についておうかがいします。

(1) 次回以降の研修会にも参加したいと思いますか？



(2) 今回の研修会の良かった点、または改善点など、自由にお書きください。

(主に基調講演について)	
・	今年度環境課に配属されたため、知識が少ない中こういった研修の機会があって良かったです。
・	基礎的な内容からお話しいただき大変参考になりました。個人的にはもう少し温対法（温暖化対策）に係る内容についてお話を伺いたいと思いました。
・	今回のような基本的内容は改めて学ぶ機会は少ないと思うので、とてもよかった。
・	国の環境政策及び法制度の沿革や基本的な内容について、講師自身の豊富な経験や事例に即して、具体的かつわかりやすく解説していただいたので、体系的な知識を得ることができて大変有意義だった。今後の仕事に役立たい。
・	環境関係の法律や歴史などの概略等を知れたため、よかった。
・	環境部署に配属されて約3か月の初任者だったので、どの内容もとても参考になるものでした。なお、
・	講義を受けた内容を他団体の方と振り返りができ、理解が深まった。また、他の団体との情報共有もできてよかった。
・	新任者対象だったので、基本的事項を学ぶ機会としては良いと思うが、内容がほぼ公害についてだったので、自分の所属とはあまり関係がなかったのが残念だった。
・	環境法の歴史と概要から現在の地方公共団体が果たす環境対策の役割の流れで説明していただき、なぜ環境対策が必要で、現在、自治体の職員としてどう環境対策に取り組んでいくべきかを考える良い機会になりました。
・	内容は参考になった。
・	今年から入庁し、環境関係の部署に配属になったので、環境に関しての知識がない中、今回の講義を聞いて環境の基礎知識が深まりました。
・	他市の意見や考え方、事例を聞けることは有意義であったが、会場の問題などで通話が難しかった。
・	基礎的な内容からお話しいただき大変参考になりました。個人的にはもう少し温対法（温暖化対策）に係る内容についてお話を伺いたいと思いました。
・	大変勉強になりました。ありがとうございました。
(質疑応答・グループワークについて)	
・	Zoomのチャット機能で意見交換するのは難しかった。
・	自分が慣れていないせいもあるとは思いますが、オンラインでのグループ討議は難しいと感じた。
・	ワークショップの時は、映り込みの問題もあると思うが、せめて画面はオープンにしてほしい。特に2回目は、チャットのみで画面も真暗で、機械とコンタクトをとっているようでした。
・	Zoomだと意見交換がしづらいです。仕方ないかもしれませんが…
・	質疑応答・ふりかえりをうまく活用することができなかった。
・	質疑応答については、マイクを使えない人がほとんどで、チャットで行ったため、あまり活発な意見交換はできなかった。

・	グループワークの時間が足りず、うまく取りまとめることができなかった。
・	ブレイクアウトルームでの意見交換では、各接続環境によりマイク使用不可などの制限があり、やり辛さを感じました。最初に他の参加者の状況を確認後ルール決めで時間を取ることであり、少なくとも事前に各参加者の制限条件がわかるか、発言はチャットのみとするなどルールがあると、時間の無駄なくスムーズに進行できると思います。
・	グループワークにおいて、音声でやり取りできない場合、チャットでやるのが大変だった。
・	グループ討論の機会が活かせず残念だった。(進行役になったもののタブレットのキーボード操作に不慣れなため、活発な意見交換ができず申し訳なかった。今後もグループ討論があるのであれば、PCでの参加も検討したいので事前にスケジュールに記載ただけると有難い。)
・	オンライン研修のため、他自治体との距離が縮まらなかったことが残念に感じました。
・	振り返りは、マイクを使ったものを当初から想定していたのであれば、マイクを使える場所と機器を確保したが、今回は自席、マイクのない機器だったのでチャット対応となった。他の自治体もチャットが多く、活発な議論とはならなかった。事前にこういった形式の振り返りを行うと知らせてほしかった。
・	急遽、オンラインのみでの実施となったので、非常に対応にご苦労されていたかと思いますが、他の参加者との意見交換がチャットのみだったため(ほとんどの方が執務室内での参加だったため、マイク不可)、前もってご案内いただくと、より有意義な時間となったかと思います。
・	グループでの話し合いが、チャットでしている人と話す人とで温度差がかなり違ったように感じました。話せる状況にない人と話せる人とでグループわけしていただくと意見が出しやすく感じました。
・	振り返りの時間があつたのは良かったですが、ZOOMの操作に不慣れで、発言やとりまとめがうまくできなかったのが残念でした。もう少し時間があると良かったかと思いました。
・	質疑応答・ふりかえりについては、リモートでのやり方に慣れていない人も多くいるので、事前に内容や操作手順などを知らせていただくとスムーズだったかと思います。
・	第一部を受講できなかったのもまだ理解できていないのですが、「環境」が何かを一言で言えないほど、業務の範囲が広いことが困っている。もう一度「環境法の歴史と変遷」をテーマとして取り上げていただくとありがたいです。
・	各自治体の担当者の意見交換の時間を設けて頂いたのは大変有意義でしたが、議論するならやはり皆が集まって行う旧来のやり方の方が盛り上がるなあ、という印象でした。新型コロナの影響が弱まることを願うばかりです。
(全般・運営方法等について)	
・	事前にマイクを使用する旨について、告知いただきありがとうございました。(必須事項として)
・	講義開始時に、会議の基本事項(マイクや顔を映すかどうかなど)の説明があるといいかと思いました。
・	当市では公害関係と温暖化・脱炭素関連の担当が別係のため、それぞれの枠を設けて参加不参加を選択できれば有難かった。
(その他)	
・	当日は苦情対応があり、講義の大部分を聞くことができませんでした。申し訳ございません。

(3) 本日の研修内容に限らず、環境担当として業務遂行上で困っていることなど、翌年度以降の研修テーマとして取り上げてほしいテーマ・トピックスなど、お書きください。

・	脱炭素に向けた自治体の取り組むべき方向性等
・	小学生に環境講座を開いているので、子供目線に伝わりやすい気候変動の内容を知りたいです。
・	気候市民会議について、概要や実施している自治体の事例などを詳しく伺いたいです。
・	国や東京都が取り組んでいる最新の動向が把握できるよう、研修の場を通して情報提供いただきたい。
・	私の所属する係は、環境関係の住民からの苦情対応を担当しています。 苦情対応について、基礎的な知識や事例を交えて解説していただくとありがたいです。
・	省エネ法等、報告書作成でデータを収集するのに苦労しています。他の自治体の方の状況を知りたいです。
・	地方公共団体実行計画(事務事業編)などについて

<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にありません。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 脱炭素先行地域の設定について
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球温暖化対策の具体的施策、他市区町村の施策展開について
<ul style="list-style-type: none"> ・ 脱炭素の関連で、住民への周知・語りかけが重要とお話があったが、その方法について具体例が聞き取れなかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球温暖化・気候変動・脱炭素に関して、地方自治体ができること、なすべきこと。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 区役所（行政）としてゼロカーボン等への取組みを率先して自ら行うことも重要ですが、事業者・住民のご協力も非常に重要となってくると思います。事業者や住民への有効的な働きかけ・情報発信について、特に秀でている取組等もご紹介などしていただけると大変ありがたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治体の環境対策への取組みの先進事例や成功事例があれば紹介して欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 温暖化対策について、指針や方針はあっても個別の具体的施策が打ち出せていない。2030年の目標達成には今すぐ動き出さなければ間に合わないと思うので、具体的事例を予算取り等から詳細に知りたい。自治体発電の事例があれば、ぜひ伺いたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 二酸化炭素排出量を46%削減するための、具体的な例をお聞きしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な実践事例等を聞ける機会がほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公害は未然防止の原則があるかと思いますが、例えばパトロールによって無認可工場等を摘発するような人的・時間的余裕はなく、届出をした（ある程度）法令順守の精神のある事業者のみに公害規制の負担を強いている現状があり、いつも心苦しく思っております。このあたり、国はどのような運用を想定して法を制定していたのか、若しくは他の自治体さんはどのように対応しているのか、知れるような講義があれば必ず参加させて頂きたいと思っております。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 温暖化施策として、区域の排出量を削減する為の施策展開。住民や事業者への意識付けの手法。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体独自の具体的な環境事業についてお聞きする研修会を開催してほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公害は未然防止の原則があるかと思いますが、例えばパトロールによって無認可工場等を摘発するような人的・時間的余裕はなく、届出をした（ある程度）法令順守の精神のある事業者のみに公害規制の負担を強いている現状があり、いつも心苦しく思っております。このあたり、国はどのような運用を想定して法を制定していたのか、若しくは他の自治体さんはどのように対応しているのか、知れるような講義があれば必ず参加させて頂きたいと思っております。